

議事(1) 休日の文化部活動の地域移行について

1. 前回の審議内容の整理(第2回新しい時代の学校構想検討委員会)

- (1) 部活動の地域移行について
 - ・部活動というよりも生涯の学習の一環(少子化の中でも、将来にわたり我が国の子どもたちが文化芸術に継続して親しむことができる機会)としての制度を構築するとよい
 - ・10年後、子どもの数が減少しても持続可能な制度を考える必要がある
- (2) 移行する部活動について
 - ・参加人数が多い部活動からか、活動希望頻度が高い部活動からか、或いは、指導者や活動場所、道具等の見通しがあり、移行しやすい部活動からなのか、羽島市の現状に合わせて移行する必要がある
- (3) 指導者について
 - ・指導者のレベルや確保について調整する必要がある
 - ・専門性の高い指導者の報酬は、高額になっているケースが多い
- (4) 活動場所について
 - ・鍵の開閉への課題はあるが、道具等がそろっている学校が候補になる
- (5) 運営団体について
 - ・地域の実情をよく知っていて主体的に動ける団体が望ましい
 - ・文化部それぞれの特性を考えると、一つの運営団体では難しい
 - ・運営団体を立ち上げて、指導者や活動場所等の運営することも考えられる

2. 本日審議いただきたいこと

今後、移行モデルの施行に向けて

- (1) 移行時期
- (2) 指導者
- (3) 活動場所
- (4) 運営団体

3. 保護者アンケートの結果から

実施時期 令和5年4月14日から4月20日まで

対象者 市内中学校及び義務教育学校（後期課程）の現2年生・3年生の保護者

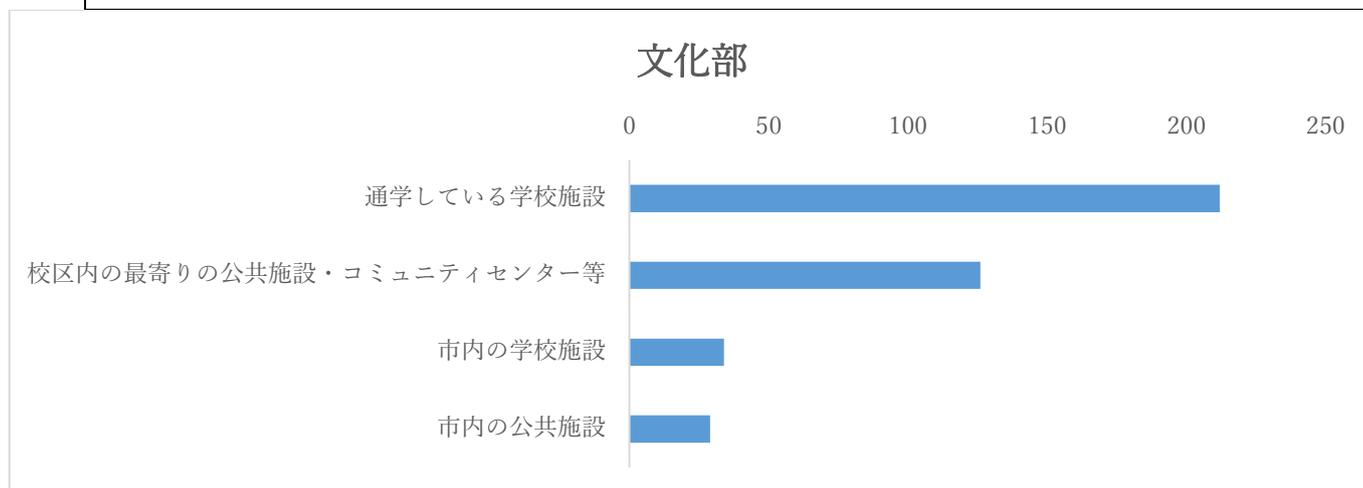
回答者の内訳（※文化部の回答率は 69.9%）

運動部	吹奏楽部	茶華道部	美術部	パソコン部	英会話部	合唱部
566	15	11	74	98	11	9

(1) 項目ごとの結果

ア 活動場所や施設

問4 全員に地域文化クラブを行う場所・施設についてお聞きします。あなたのお子さんの場合、以下のどこであれば参加が可能だと思われますか。（保護者の送迎含む）
【複数回答可】



【結果】

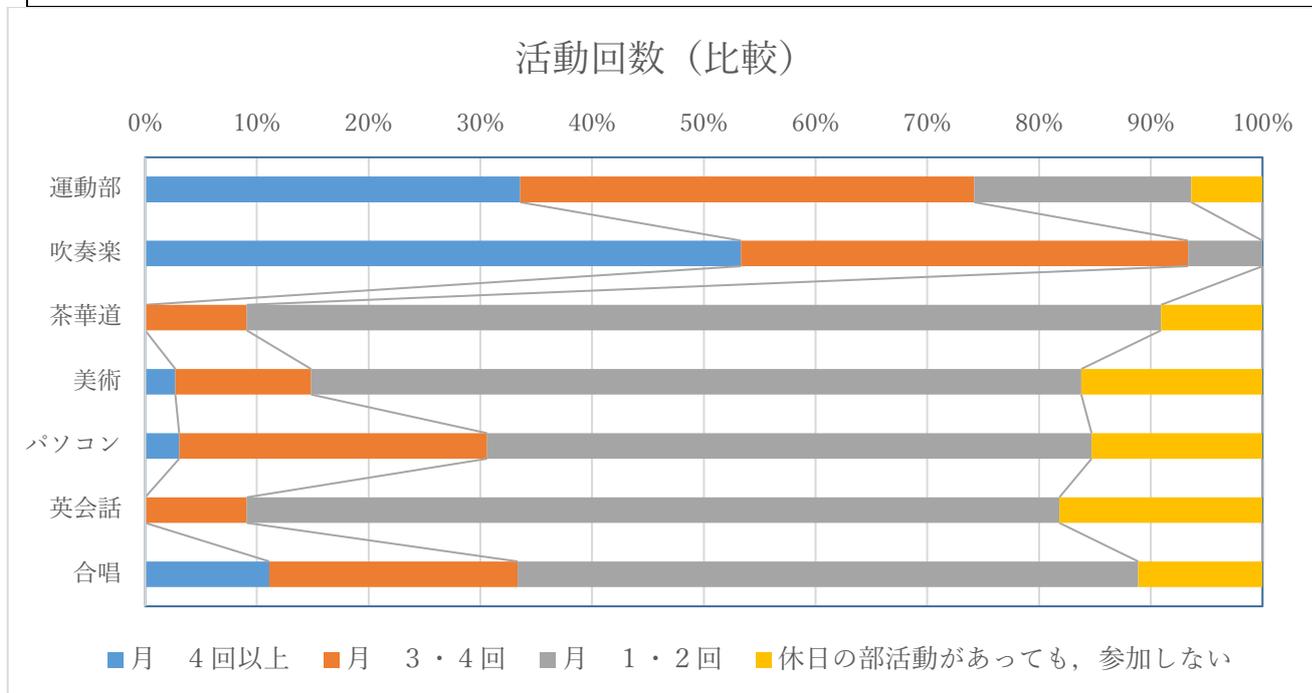
- ・「通学している学校施設」「最寄りの公共施設・コミュニティセンター」の数値が高い

【自由記述（一部抜粋）】

- ・送迎や当番等、保護者の負担軽減をしてほしい
- ・市内の学校やコミュニティセンターを利用する場合、コミュニティバスは使えるのか（交通手段）
- ・移動中の事故やけがの対応はどうなるのか

イ 活動頻度

問5 休日の文化部活動の実施回数についてお聞きします。お子さんが地域文化クラブでの休日の活動を行うにあたり、どの程度の回数が望ましいと思われますか。（※参考：岐阜県の部活動のガイドラインでは休日の部活動は、土日どちらかで3時間程度、月4回となっています。）



【結果】

- ・どの文化部活動においても月1回以上の活動希望がある
- ・吹奏楽部は、月3回以上の活動希望がある

【自由記述（一部抜粋）】

- ・塾があり、参加しにくい
- ・平日の活動が活性化されないなら参加する意味はない
- ・休日は家族の時間にしたい。家族の時間が減るのは寂しい

【参考】※令和5年1月実施の生徒アンケートより

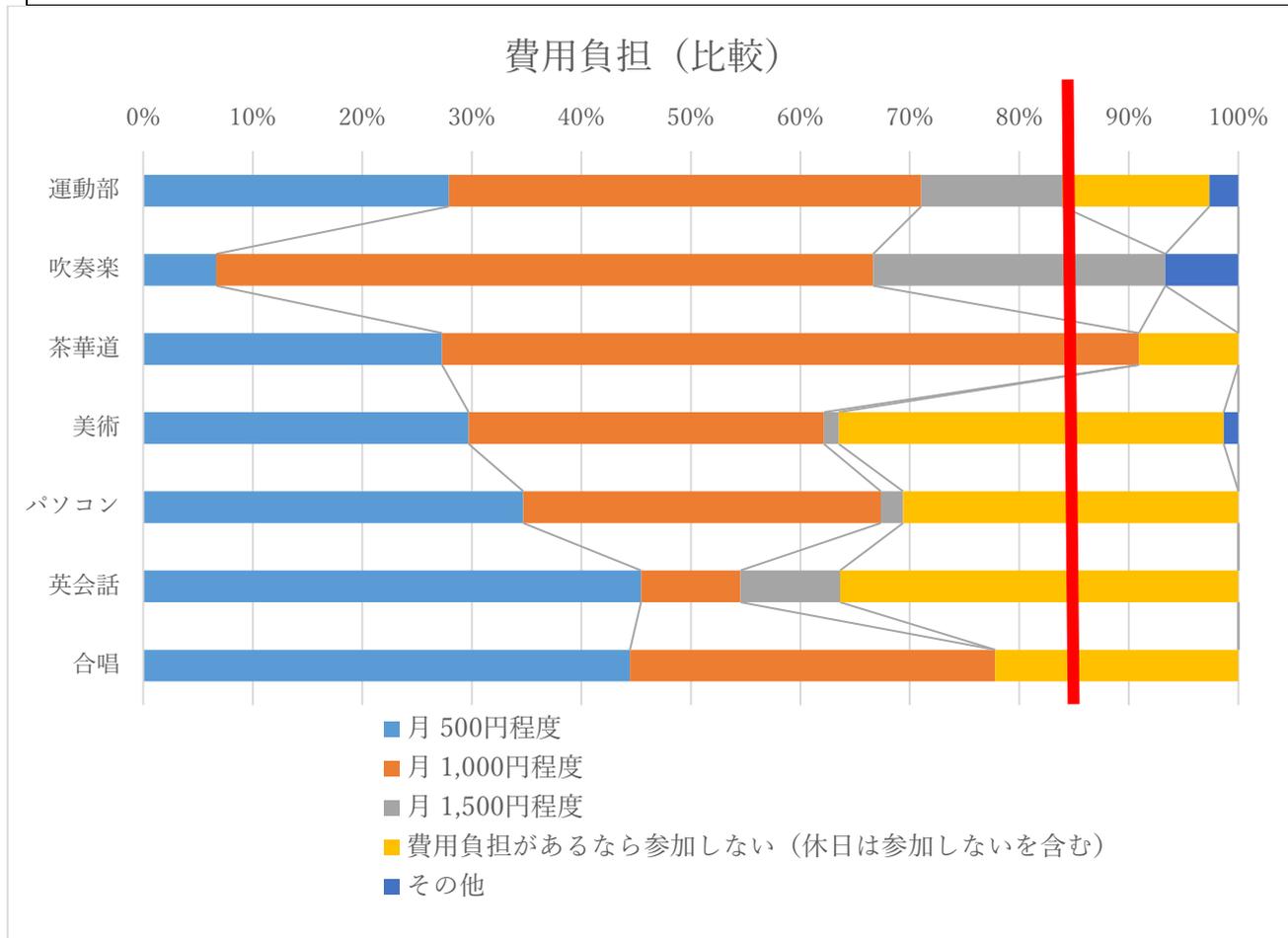
問11 あなたは、所属する文化部活動について、月に休日が8回あるとした場合、何回活動したいと思いますか。

（生徒回答）

吹奏楽部	茶華道部	美術部	パソコン部	英会話部	合唱部
・月3回以上 100%	・月1回以上 84.7%	・月1回以上 86.5%	・月1回以上 78.8%	・月1回以上 81.4%	・月1回以上 83.3%

ウ 活動費用

問6 地域文化クラブに必要な費用についてお聞きします。お子さんが地域文化クラブでの休日の活動を行うにあたり、必要な費用はどの程度だと思われますか。※参考として運動部活動が地域移行されたスポーツクラブについて、休日の活動のための費用は、月1,000円程度（年会費6,000円、参加料500円×12か月、保険料年間800円）になります。それらは、指導者の謝金・運営事務経費に充てられています。またこの全クラブ共通の費用とは別に、クラブごとに必要経費を集めています。



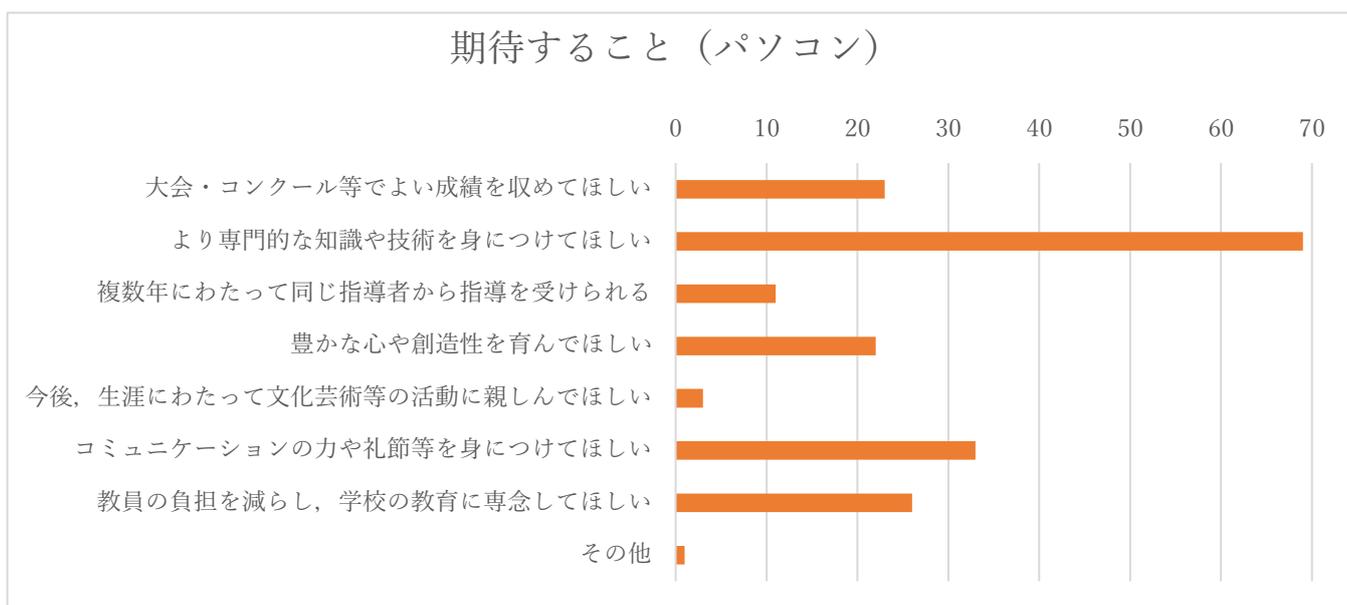
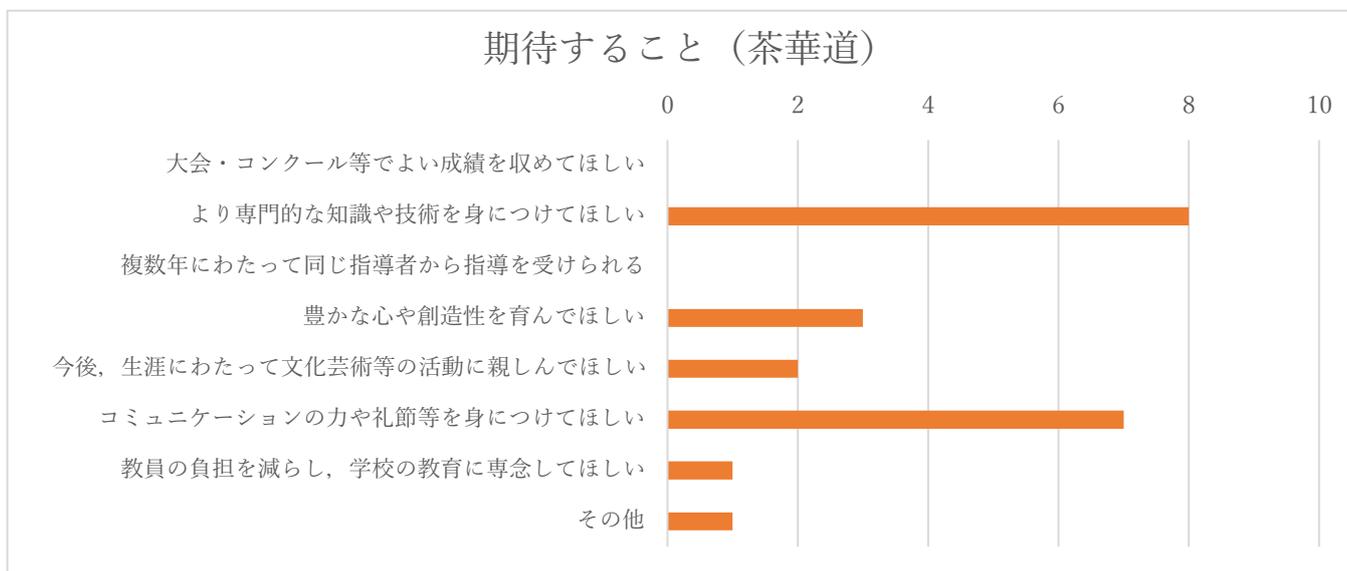
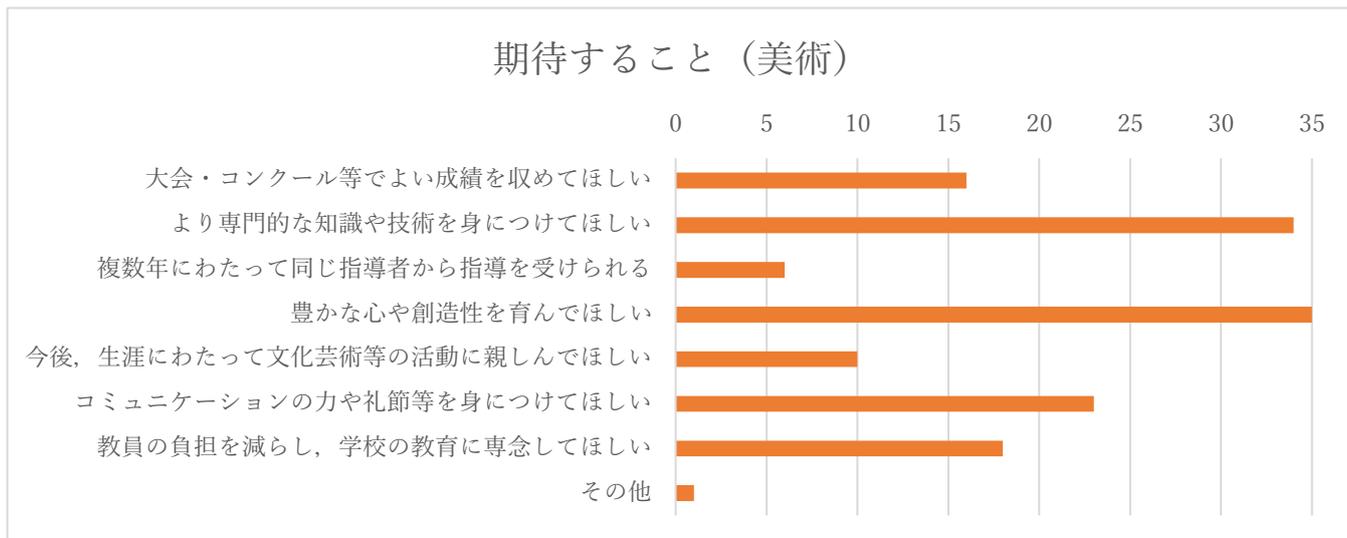
【結果】

- ・吹奏楽部、茶華道部は費用負担があっても活動したい傾向にある
- ・美術部、パソコン部、英会話部の約3割が費用負担のある場合（休日の活動）は参加しない傾向にある

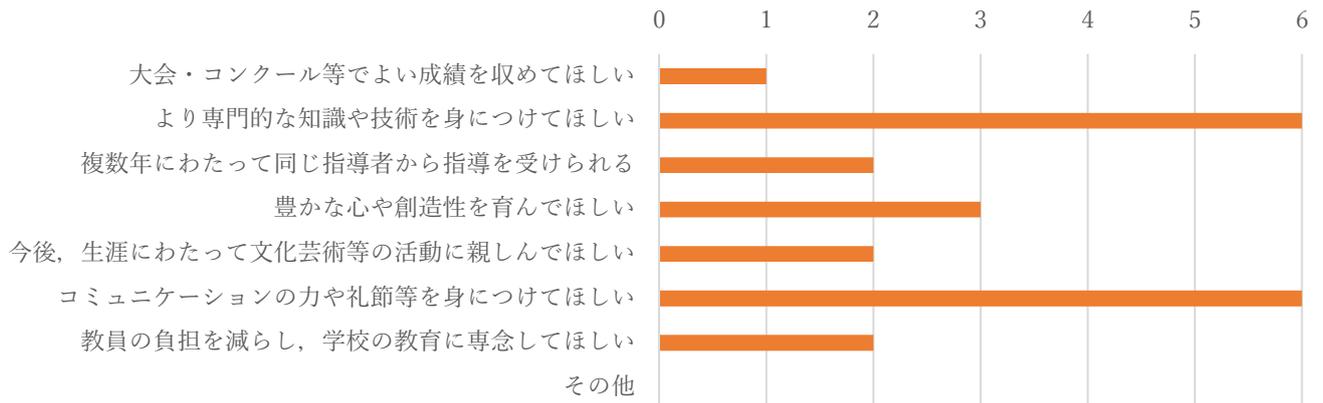
【自由記述（一部抜粋）】

- ・地域移行になると費用負担が増えそう
- ・専門的な指導を受けるならそれなりの費用は必要になる
- ・現在の吹奏楽部の指導者に満足している

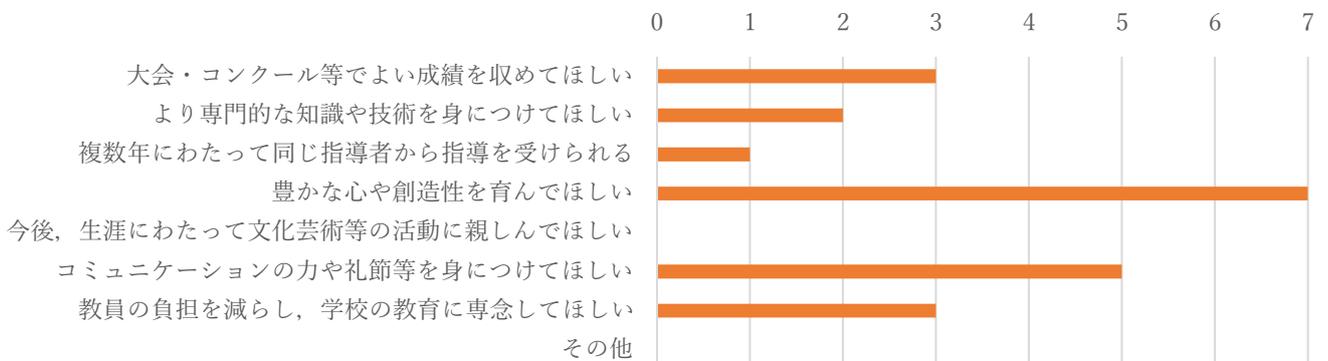
エ 期待すること



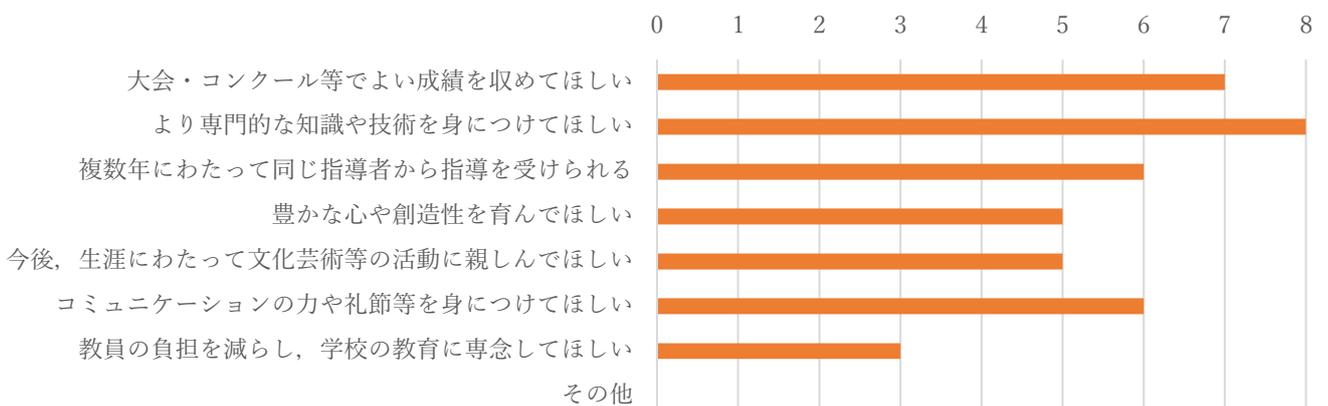
期待すること（英会話）



期待すること（合唱）



期待すること（吹奏楽）



【結果】

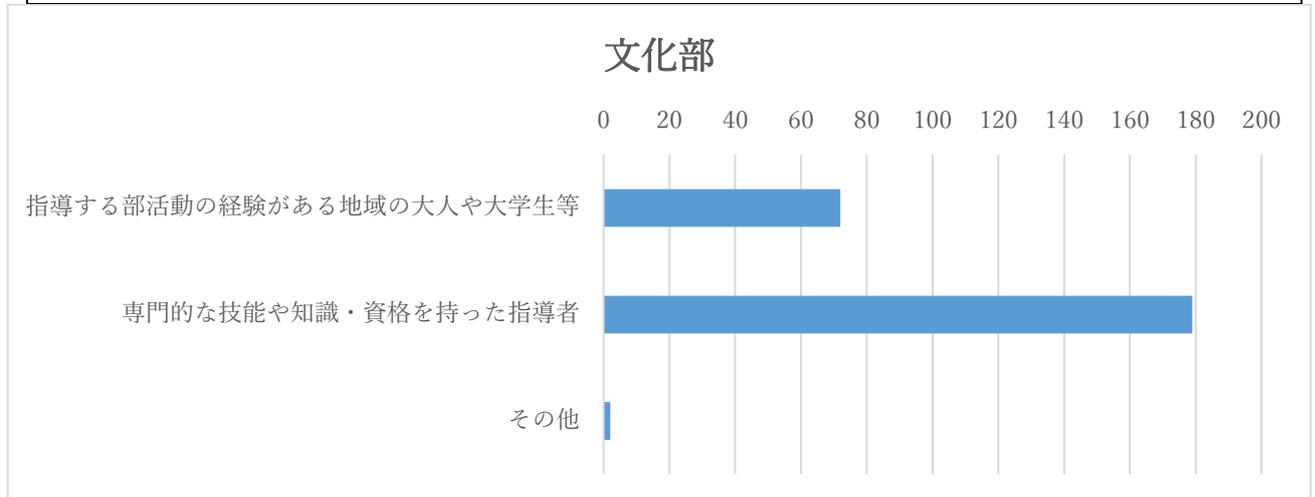
- ・部活動の特性により、期待するものが異なる
- ・多くの部活動において、より専門的な知識や技術を身につけてほしいという願いがある

【自由記述（一部抜粋）】

- ・資格や免状を取得してほしい

オ 指導者について

問9 地域文化クラブでの指導者についてお聞きします。担当教員以外であなたがお子さんを休日の地域スポーツや文化活動に参加させるとしたら、どのような指導者がよいと思われますか。



【結果】

- ・専門性を高める指導に期待が高い

【自由記述（一部抜粋）】

- ・指導者と生徒との適切な距離感
- ・指導者の技量と信頼性
- ・子どもたちの意見をよく聞き、寄り添ってくれる指導者
- ・指導者への費用負担の増加

(2) 関係団体からの意見

ア 指導者

文化・芸術等に精通した団体から指導者を紹介してもらうことは可能である

イ 活動場所

コミュニティセンターや公民館、学校が考えられる。減免申請を活用して、市の施設を活用する方法もある

ウ 運営団体

文化部活動の移行となると、文化・芸術等に精通した団体が望ましい

4. 移行モデルの施行に向けて今後の方向性

～アンケート結果、関係団体からの聞き取りから～

(1) 移行時期

- ・国の方針（2023年～2025年 改革推進期間）を踏まえて、移行する
- ・受け入れ団体候補の受け入れ準備（スケジュール等）が整ったところ

(2) 移行する部活動

- ・生徒からの休日部活動に対する一定の要望・需要があるもの
- ・活動場所や環境、指導者の見通しがつきそうな部活動を優先する

(3) 指導者候補

- ・子どもの願いに寄り添った指導が可能な人物
- ・専門的な知識と技術を有する人物
- ・「指導者」（技術指導）と「責任者」（事故や相談窓口）を分けて考える

(4) 活動場所候補

- ・送迎の負担軽減（自分たちで通える施設）
- ・活動環境が整った施設
- ・休日の学校施設を活用できる体制づくり、環境づくり

(5) 運営団体候補

- ・指導者研修や会計処理等の運営事務について、一定の知見を有する団体
- ・羽島市において文化等に精通している団体
- ・運営団体のNPO法人等、新たな運営団体の立ち上げ

【参考】令和5年5月1日現在 部活動人数（1～3学年）

吹奏楽部	茶華道部	美術部	パソコン部	英会話部	合唱部
竹鼻中 37	竹鼻中 16	羽島中 43	羽島中 74	羽島中 21	羽島中 16
		竹鼻中 40	竹鼻中 56		
		中央中 38	中央中 69		
		中島中 39			

プレゼンテーションにて説明します

1. 前回の審議内容の整理（不登校児童生徒の対応）

- (1) 不登校児童生徒への支援の取組みについて
 - ・不登校を問題行動と捉えず、子どもたちの社会的自立を目指している市の考え方がよい
 - ・校内適応指導教室「のぞみ」における人の配置を含めた運営についての詳細がわかるとよい
 - ・メタバース（仮想空間）適応指導教室についても具体や詳細がわかるとよい
- (2) 新たな不登校を生み出さない取組みについて
 - ・不登校の要因は千差万別、全員が違うと言ってもよい。そのために不登校児童生徒に対する支援（チャンネル）をたくさん用意し、その子に適用する支援を用いるとよい

2. 本日審議いただきたいこと（不登校児童生徒の対応）

- (1) 校内適応指導教室「のぞみ」の運営について
- (2) 新たな不登校を生み出さない取組み

3. 不登校児童生徒の対応

- (1) 校内適応指導教室「のぞみ」について
 - ・設置のねらいや特色、運営について
 - ・校内適応指導教室「のぞみ」の位置づけ
 - ・1日のカリキュラム（案）
 - ・活動例
- (2) 新たな不登校を生み出さない取組み
 - ・一人一人にとって魅力ある学校づくりの推進（市内取組み事例）
 - ※市内の取組み例とその効果を紹介
 - ※他市町村の取組み事例を紹介

議事(2)

不登校児童生徒の対応について

前回の審議内容の整理（不登校児童生徒の対応）

(1) 不登校児童生徒への支援の取組みについて

- 不登校を問題行動と捉えず、子どもたちの社会的自立を目指している市の考え方がよい。
- 校内適応指導教室「のぞみ」における人の配置を含めた運営について
- メタバース適応指導教室について

(2) 新たな不登校を生み出さない取組みについて

- 不登校の要因は千差万別 支援（チャンネル）をたくさん用意する。

本日審議いただきたいこと（不登校児童生徒の対応）

- (1) 校内適応指導教室「のぞみ」の運営について
- (2) 新たな不登校を生み出さない取組みについて

(1) 校内適応指導教室「のぞみ」の運営について

校内適応指導教室「のぞみ」設置に向けて

【場所】

羽島市立小熊小学校
北舎 1 階



【体制】

教育相談・学校支援専門員	1 名
教育相談員	2 名
教育相談助手	1 名
メンタルフレンド（学生）	2 名

(1) 校内適応指導教室「のぞみ」の運営について

校内適応指導教室「のぞみ」の特色①

- ・ 現在ある各学校の相談室、適応指導教室「こだま」に加え、新たに学校内に適応指導教室を設置することで、不登校児童生徒の居場所を増やし、多様な支援体制を強化することができる。

(1) 校内適応指導教室「のぞみ」の運営について

校内適応指導教室「のぞみ」の特色②

- 学校施設（体育館、理科室、音楽室、調理室等）を活用した学習や活動ができ、児童生徒の学校復帰や社会的自立への足掛かりとして期待できる。

(1) 校内適応指導教室「のぞみ」の運営について

校内適応指導教室「のぞみ」の特色③

- ・ 児童生徒とオンラインによる教育相談やメタバーズを活用した教育活動を行うことができる。

(1) 校内適応指導教室「のぞみ」の運営について

校内適応指導教室「のぞみ」の位置づけ

	適応指導教室 『こだま』	校内適応指導教室 『のぞみ』	相談室
場 所	学校外	学校内	
対象者	市内全域		自校
担当者	市教育相談員		学校職員
対 応	個別対応中心	小集団対応中心	
メリット	落ち着いた環境 個に応じた指導	特別教室の利用 学校の日課で活動	仲間との関わり 行事への参加

(1) 校内適応指導教室「のぞみ」の運営について

校内適応指導教室「のぞみ」の運営

【1日のカリキュラム（案）】 **時間割は自分でつくる！**

	月	火	水	木	金		
午前 9:30 ～ 12:00	支援 会議	フリー スペース	個別 ①	フリー スペース	個別 ①	フリー スペース	個別 ①
			個別 ②		個別 ②		個別 ②
昼食・休憩12:00～13:20			掃除 13:20～13:40				
午後 13:40 ～ 15:00	保護者 相談	フリー スペース	ソーシャル スキル トレーニング	フリー スペース	メタバース 教室	フリー スペース	メタバース 教室

個別支援

相談員と児童生徒が1対1で学習や活動、相談を行う。

フリースペース

児童生徒が自分の日課をつくり、学習や活動に取り組む。

ソーシャルスキルトレーニング

ゲームやテキストを活用して社会性やコミュニケーション能力を身に付ける。

メタバース教室

仮想空間で、アバターを介してコミュニケーションしたり、活動に参加したりする。

(1) 校内適応指導教室「のぞみ」の運営について

【活動例①】学校の教材や教具を活用しながらの学習・活動

家庭科室

調理実習や裁縫など



図書室

たくさんの図書



音楽室

いろいろな
楽器



理科室

観察や実験

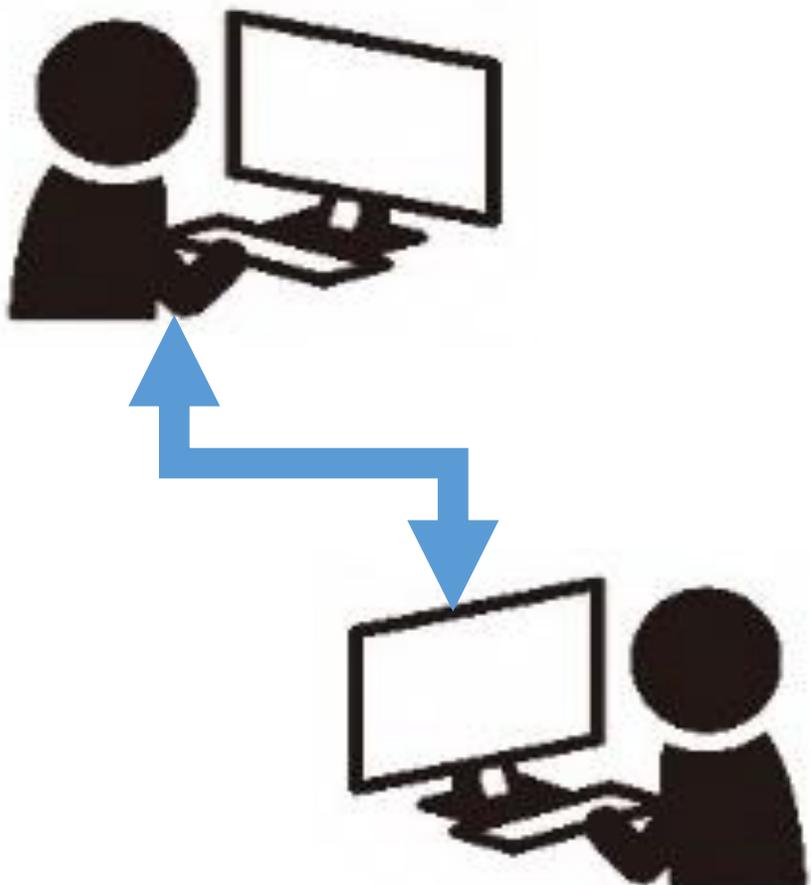


体育館



校内適応指導教室「のぞみ」運営

【活動例②】 オンラインによる教育相談や メタバースを活用した教育活動



仮想空間で、アバター（自分のキャラクター）
同士でコミュニケーションしたり活動を行う。



<https://www.moguravr.com/cluster-3/>

(2) 新たな不登校を生み出さない取り組みについて

一人一人にとって**魅力ある学校づくり**の推進（市内取り組みの事例）

自分たちの手で進める活動

人との関りを深める活動

柔軟で多様な人間関係の構築

無理のない進級・進学

安心できる相談体制

(2) 新たな不登校を生み出さない取り組みについて

自分たちの手で進める活動

自分たちで企画した活動
自己決定の場

達成感や満足感



全校児童による「人文字作戦」

(2) 新たな不登校を生み出さない取組みについて

柔軟で多様な人間関係の構築



異年齢集団による取組み

(2) 新たな不登校を生み出さない取り組みについて

無理のない進級・進学

小1プロブレムや中1ギャップの軽減
段差のないなめらかな接続

学びの連続性に配慮した幼保小連携の推進

小中の先生による積極的な交流



交流のようす

(2) 新たな不登校を生み出さない取組みについて

安心できる相談体制

各校における柔軟な教育相談の実施

スクールカウンセラー等との連携

羽島子ども応援サポーターによる学習支援

スクールソーシャルワーカーによる家庭支援



学習支援の様子

(2) 新たな不登校を生み出さない取組みについて

新たな不登校を生み出さない他市町村取組み事例

学年担任制

- ・複数の教員による「多面的な視点」で対応・いじめや不登校などの問題をはじめ、子どもの変化に気づく機会を増やす
- ・教員へ相談のしやすさ、関わりやすさ

定期テスト廃止

- ・単元ごとの確認テストを中心にこまめに計画的に学習を進める
- ・定期テストへのプレッシャー、負担感を軽減

人間関係を固定しない集団編成

班や学級の編成のあり方

- ・活動によってさまざまな班を編成し、人間関係を固定しない集団のあり方

不登校特例校・分教室

- ・不登校の状態にある児童生徒の実態に配慮した特別な教育課程を編成し、実施している学校
- ・正規教職員の配置による学力保障

きて、
みて、
たいけんして



どんなところ？
はじめての場所
心配・・・。

小熊小学校の特別室でいろ
いろなことができるよ！！

のぞみ

家庭科室



ウキウキ、クッキング！に
ソーイング！
おかし、たこ焼き、カレーライ
ス、ピザ、サンドイッチ、ハン
バーグ…何を作る？
My bag にエプロン、クショ
ン、何を作りたい？

理科室



おもしろ実験・じっくり観察！
へえ～そうなんだ。知らなかったな
新しい発見！

図書室



絵本、小説、図鑑…学校の図書館だから
いろいろあるよ
今日はどの本を読もうかな？借りていこうかな

体育館



ほちほち わくわく
スポーツでいいあせ
かこう！
卓球、バトミントン、フ
リスビー、ソフトバレー…
学校の体育館だから、マット
も跳び箱もあるよ！
いっしょに体を動かそう！

音楽室



リズムでエンジョイ！
ピアノ、鉄琴、木琴、マリンバ
ドラム、和太鼓、琴…いろい
ろな楽器があるよ。どんな音色
がするのかな？



どんなこと
できるのかな？

図工室



糸鋸で木の板
を切って何を
作ろうかな？
いっしょにオリ
ジナルグッズを
作ってみよう！

今日は、みんなと何する？

将棋、囲碁、ボードゲーム…
いろいろそろえてあるよ。



自分のペースで
ゆっくり学習できるのが
いいね。
パソコンを使って、
プリントで、ドリルで
好きなやりかたでいいよ

畑



ビオトープには、いろいろな生き物が
いるよ！
どんな生き物がいるのかなあ？
この植物は何かあ？

ビオトープ



自分たちで育てた野菜はおいしいよ！
何を育てようかなあ
キャベツを育てて、たこ焼きパーティしよ
うかなあ。楽しみ！

のぞみ教室



今日も、ごきげん。
ネットでさくさく、
アニメやアニソンけんさく
しましょ！
オンライン学習もできるよ

広場



シロツメグサのじゅうたんに寝転んだり、空
に向かってジャングルジムを登ったり…
ここは時間の流れがゆったりしているなあ。
この感じがとっても気持ちいい！